

第4次計画の成果指標及び男女共同参画社会づくり推進会議での意見等

基本目標1「男女共同参画社会を支える意識の形成」（事業No.1～No.16）

成果指標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	目標 令和8年	出典
社会全体として男女が平等だと思う市民の割合	18.6%	19.5%	20.0%	19.3%	40.0%	真岡市民意向調査
男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている人の割合	52.1%	54.5%	51.7%	55.0%	75.0%	真岡市民意向調査
夫婦間の役割分担の満足度 ※満足+やや満足	69.9%	--	--	--	80.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査

基本目標1に対する庁内推進会議での意見等

男女共同参画の実現には、個人が性別に関わりなく、多様な生き方を認め合えることが重要である。男女共同参画に関する情報発信は、幅広い世代に対して定期的に行っており、また教育現場における学習の機会、市民向けの学習機会も定期的を実施している。男女の固定的役割分担意識解消の向上が見られるものの目標値までは遠い結果となっている。引き続き、男女共同参画の理解促進と教育の充実に向けた事業を推進し、一人ひとりが自分らしく生きられる社会にするために、日常生活に潜む偏見や差別意識を取り除くように努めていく。そのためには、男女の固定的な性別役割分担やそれに基づく社会習慣に捉われない情報発信を全庁的に行っていく。

基本目標2「あらゆる分野における男女共同参画の推進」（事業No.17～No.45）

成果指標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	目標 令和8年	出典
職場で男女平等になっていると思う市民の割合	28.0%	--	--	--	40.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
男性の育児休業取得率	--	--	--	--	30.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
審議会・委員会等の女性委員構成割合	28.5%	29.2%	29.2%	28.0%	33.0%	前年度の実績
市役所の管理的地位に占める女性職員の割合 ※部課長職以上	2.2%	10.9%	10.9%	15.2%	15.0%	実績値

基本目標2に対する庁内推進会議での意見等

男女共同参画の推進は、家庭、就労、地域などあらゆる分野での取り組みが重要である。就労の場における男女共同参画の推進は、各課において働きかけはしているものの、いまだ男性中心型労働が根強く残っている現状である。男女が対等なパートナーとして働くことができる職場の環境づくりを促進するとともに、家事や育児、介護など幅広い分野で男女が協力できる社会を目指す必要がある。働く親にとって保育園は充実してきているものの、学童がまだ課題が多いように感じる、また、男性の育児休業の取得促進についても課題となっている。子育て世代の就労における環境整備について今後検討していく必要がある。男女共同参画の意識醸成のための研修や学習機会の提供に引き続き力を入れていく。

基本目標2に対する審議会での意見等

市役所の管理的地位に占める女性職員の割合は15.2%と、目標の15%を達成しているため、今後目標の見直しが必要。

基本目標3「暴力の根絶と安心して暮らせるまちづくりの推進」（事業No.46～68）

成果指標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	目標 令和8年	出典
配偶者等からの暴力を受けた際に相談できる機関を知っている人の割合	55.5%	58.1%	54.8%	54.1%	70.0%	真岡市民意向調査
配偶者等から受けた暴力についてどこ(誰)にも相談しなかった人の割合	55.1%	--	--	--	44.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	84.1%	88.0%	87.6%	86.8%	88.0%	真岡市民意向調査

基本目標3に対する庁内推進会議での意見等

啓発活動を継続するとともに、声を上げにくい状況にある人々への支援体制の強化と相談体制の充実を進めることが重要である。暴力の根絶に関する啓発活動や支援は、性別年代に関わらず幅広い市民に対して啓発をしているものの、成果指標の結果からは、相談事業の情報が行き届いていない可能性があるため、周知方法の工夫も検討したい。そして、困難な状況に置かれている方が、さらに困難な状況に陥ることが無いよう、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めていく。

基本目標3に対する審議会での意見等

デパートやショッピングモール、市役所の女性トイレには、女性相談のカードが置いてあり、個の空間なので、普段オープンにできない人がそこでだったら相談してみようと思えるのだと思う。男性トイレには置いていないということなので、置いた方が良いと思う。成果指標で数値が入っていない部分があると改善しているかわからないため、成果指標の項目については、アンケートを毎年とる必要がある。